

令和6年度 第3回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月21日（木） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、河島 秀夫、大隅 智、小澤 房世、岡部 かおり
関島 貴浩、太田 有昭、太田 利実保
- 4 欠席委員 實森 浜代、山本 六二郎
- 5 学 校 中野 主税（校長）、新 英樹（教頭）、土屋 淳心（CS担当職員）
横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵

9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、校長から岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）学校評価（中間評価）を受けて

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価（中間評価）を受けて

教頭より、学校評価（中間評価）について資料（8、9頁）を用いて説明があり、下記の協議の視点を念頭に、委員から以下の発言があった。また、議長より、本日はグループ協議を行う旨の説明があった。

<協議の視点>

- ① 光明小児童の「強み」「弱み」は何か。
- ② 「強み」を伸ばすために、また、「弱み」を改善するために、地域・家庭・学校でできることはどんなことか。

【Aグループ：大隅委員、岡部委員、関島委員、利実保委員、校長、土屋】

- 強みは、素直、楽しく、学校全体でやろうとしている姿勢。
- 弱みは、アンケート [4, 5, 6, 8] について、少なからず評価 [1, 2] を選択した子がいること。
→評価 [1, 2] が多い項目に視点を当てて対策をする。
- アンケート [7] 等、職員と児童でギャップがある点について、児童が気付いてほしいと言っているのか、そのメッセージを考えたい。

- 児童の評価 [1, 2] の回答は、よく考えた上のメッセージ（SOSサイン）だととらえられるのでは。
- 挨拶は、学校だけではなく、家庭や地域に声をかけることも大事。
 - 第1回のアンケート結果より落ちてきている。家庭内の事情の影響は大きい。
 - 保護者、児童は自覚している。学校側はどこまで求めているのか。
 - 学校ができることは、繰り返し声掛けしていくことが有効。
 - 地域で声をかけると、不審者扱いになる場合もあり難しい面もある。
 - いい地域を作るのに、児童の明るい挨拶は有効。根気強く大人から声かける。
 - 「挨拶」＝「見守り」
- アンケート [4, 6, 7, 8] の内容次第では、不登校につながりそう。
- 評価 [1, 2] について、保護者と児童の割合が同じくらいになっているところは、親も感じ取っているのか、会話ができている可能性がある点はその点は良いと考えられる。
- アンケート [14] から見える家庭の様子。タブレット（スマホ）との付き合い方どうか。
 - 正しいことは分かっているけど、止められない弱さに対して、どう指導していくか。
 - アンケートでは早寝・早起き・朝ごはんの3つの内容について聞いているが、3つの内容を1つずつ分けて質問すると、より詳しい実態が把握できる。
- 児童の道徳心を育てていきたい。
 - 本来、生活の中で道徳を身に付けていくものだが、学校での道徳教育はどうするか。
 - 正しい、価値を教え込むのではなく、自分の弱い心などについて振り返り、どう向き合うか考えさせることが大事。
 - アニメ「ワンピース」は正義と道徳の戦いが背景にあり、それを道徳の授業で用いるとどうか。

【Bグループ：会長、小澤委員、河島委員、有昭委員、教頭】

- 強みは、職員、保護者、児童ともに肯定意見が多い。タブレット活用（スマホ）が得意。
 - アンケート [11, 15] は肯定意見が多い。
- 弱みは、少なからず肯定意見が少ない評価も見られる。
 - タブレット活用が得意な分、生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん、姿勢等）に影響を与えている。
 - アンケート [9] から、人の話をしっかりと聞けないと自覚する子がいる。
 - ルールを作り守るといった指導や、考える力を養うことが必要では。
- アンケート [4] は、職員と児童のギャップが大きい。
- アンケート [5] の挨拶は、先生からの期待が強い。
- 家庭面の課題については、保護者向けの啓蒙が必要では。

【その他報告事項等】

会長から、劇団について資料2枚を用いてお知らせがあり、本校および光が丘中学校の生徒も数名出演しており、表現の場として機能している旨の説明があった。

土屋から、学習支援ボランティア活動の進捗状況（実践報告）について、資料（6、7頁）、別紙「コミュニティ・スクールボランティアの感想」を用いて説明があり、委員より以下の発言があった。

●軌道に乗ってきているので、広げていく方法も考えていきたい。（岡部委員）

教頭から、学校運営協議会自己評価表について、12月20日（金）までに、紙またはさくら連絡網での返信にて提出願うとの連絡があった。

教頭から、次回会議は、令和7年2月7日（金）13時30分から15時00分に開催する旨の連絡があった。